

30.10.11

# 平成29年度 決算説明資料

平成30年10月11日

観光文化交流局

# 目 次

頁

1	観光文化交流局の主な不用額	1
2	観光文化交流局における年間超過勤務時間	2
3	(公財)名古屋観光コンベンションビューローへの支出額の内訳	3
4	都市魅力の向上・発信	4
5	各都市の観光入込客数の推移	6
6	中部国際空港の目標値及び実績	7
7	市内の国・地域別留学生数	8
8	なごや留学生フレンドシップ事業(外国人留学生大交流会inなごや 2017) 国別参加留学生数	8
9	国際展示場新第1展示館整備事業者選定審議会における検討事項	9
10	国際展示場コンベンション施設整備に関する調査	9
11	空見地区における大規模展示場整備に関する調査等	10
12	新たな文化施策推進体制の検討	11
13	ナゴヤ・ポップアップ・アーティスト	12
14	芸術文化団体への活動助成の実績及び見直しの経緯	14
15	大・中規模ホールの認識と課題	15
16	名古屋城における民間事業者と連携した城内イベントの主な内容	16
17	石垣の修復	17
18	本丸御殿復元整備事業費	18
19	天守閣木造復元の基本設計等	19

1 観光文化交流局の主な不用額

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
	円	円	円	%
石垣の修復	200,000,000	28,240,000	171,760,000	14.1
国際会議場の運営	350,440,000	244,323,760	106,116,240	69.7
(名古屋城天守閣特別 会計) 基本設計等	953,000,000	846,936,000	106,064,000	88.9
文化施設等の応急保全 工事	211,739,000	128,489,204	83,249,796	60.7
名古屋市公館の運営・ 整備	120,769,000	79,367,996	41,401,004	65.7

注 不用額の上位5事項

2 観光文化交流局における年間超過勤務時間

(1) 年間超過勤務時間数600時間を超えた職員数 (単位：人)

区 分	平成28年度	平成29年度
600時間を超えた職員数 (全職員数)	25 (111)	25 (115)

注 全職員数は、課長級以上を除く4月1日現在員数

(2) 年間超過勤務時間数上位5名 (単位：時間)

区 分	平成28年度	平成29年度
1 位	1,326	1,154
2 位	1,252	1,143
3 位	1,182	1,034
4 位	1,116	952
5 位	1,011	944

注 時間数は、休日勤務にかかる時間数を含む

3 (公財) 名古屋観光コンベンションビューローへの支出額の内訳

(1) 補助金

(単位：円)

区 分	金 額
フィルムコミッション事業	5,318,708
大規模イベント事業助成	4,000,000
イベント事務費	123,397
歴史観光の推進	9,971,376
観光客の誘致宣伝活動	181,362,545
なごや観光ルートバスの運行	1,813,320
インバウンド誘致の強化	10,471,478
外国人観光客の誘致宣伝活動	31,276,362
MICE開催助成	9,326,633
大会・会議等コンベンション誘致活動等	56,096,379
計	309,760,198

(2) 委託料

(単位：円)

区 分	金 額
観光案内所の運営	83,714,000

(3) 貸付金

(単位：円)

区 分	金 額
コンベンション開催準備資金の貸付	5,000,000

#### 4 都市魅力の向上・発信

5つの柱	事 項	主な内容
戦略1 ブランドづくり	名古屋ブランド化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋なんて、だいすきシールの作成、配布</li> <li>・名古屋なんて、だいすきイベントの開催</li> </ul>
	公式PRソングの募集・制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民等から歌詞フレーズ公募</li> <li>・まるはっちゅ〜ぶでPV公開</li> </ul>
戦略2 destinationづくり	名古屋城を核とした魅力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋城と栄地区をつなぐマップの作成</li> <li>・名古屋城と名古屋港地区をつなぐマップの作成</li> </ul>
	堀川を活かした魅力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お散歩クルーズの実施</li> </ul>
	スポーツを活かした魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを活用した名古屋ブランド確立に向けた基礎調査の実施</li> <li>・東京2020大会におけるホストタウン推進にかかる調査等の実施</li> </ul>
	都市魅力の向上・発信活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模イベント助成</li> </ul>
戦略3 シビックプライド・ちびっこプライドづくり	地域の資源を活かした魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あつた謎解き街歩きの開催</li> <li>・熱田神宮界隈におけるPRブースの出展</li> </ul>
	都市魅力の向上・発信活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルムコミッション事業</li> </ul>
戦略4 メディアの創造・活用	メディアを活用したプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアリレーションに係る調査</li> <li>・魅力向上・発信ウェブサイト及びSNSの運営</li> </ul>
戦略5 サポーター・担い手づくり	魅力向上・発信の担い手づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋なんて、だいすきアプリの開発</li> <li>・名古屋応援シンポジウムの開催</li> </ul>

主な実績	5つの柱における事業評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19万枚配布</li> <li>・ 50,123人参加</li> </ul>	<p>具体的なツールとしてキャッチコピー、ロゴマークに併せてPRソングを制作し、金シャチフォントを使用したグッズを作成するなど、都市イメージの編集・発信に着手することにより、市民の機運醸成を図った</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募総数256件</li> <li>・ 16,369回再生</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各5,000部作成</li> </ul>	<p>戦略に掲げる歴史・文化魅力軸及びまちづくり・ものづくり魅力軸に点在する各エリアと名古屋城を結ぶ魅力を創出・発信し、国内外から人々を呼び込んだ</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チケット736枚販売</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホストタウン登録3か国</li> <li>・ 事前キャンプ誘致活動</li> </ul>	<p>東京2020大会に向けたホストタウン登録に取り組むなど、今後のスポーツを活かした魅力の創出・発信に資する事業に着手できた</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3件助成</li> </ul>	<p>国内・世界からのデスティネーションとなる市内大規模イベントに対し助成した</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究会4回開催</li> <li>・ 社会実験4回実施</li> </ul>	<p>コスプレ観光造成にかかる社会実験の実施など、コスプレによる本市の魅力の創出・発信に着手できた</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街歩きの参加者2,306人</li> <li>・ ブース10回出展</li> </ul>	<p>戦略に掲げる2つの魅力軸の中間に位置する熱田神宮界隈の回遊性の向上を図ったほか、テレビ番組等のロケ地マップを作成するなど、シビックプライドの醸成を図った</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 76件撮影支援</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブアクセス数 156,041件</li> </ul>	<p>ウェブサイト及びSNSを運営し、情報が発信・拡散される過程を調査分析するなど、メディアの効果的な活用に着手できた</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アプリ登録者数2,202人</li> <li>・ シンポジウム306人参加</li> </ul>	<p>アプリの登録を通じ、市民等に魅力向上・発信の担い手となっていただいたほか、産学官民によるコンソーシアムの立ち上げに向けた準備会としてシンポジウムを開催した</p>

5 各都市の観光入込客数の推移

(1) 宿泊者数

(単位：万人)

区 分	平成27年度		平成28年度	
	宿泊者数	うち外国人	宿泊者数	うち外国人
札幌市	615	192	573	209
東京都	4,334	901	4,307	988
横浜市	512	72	429	72
京都市	1,362	316	1,415	318
神戸市	529	—	506	—
福岡市	631	210	727	271
本市	653	102	639	89

(2) 日帰り客数

(単位：万人)

区 分	平成27年度	平成28年度
札幌市	750	816
東京都	48,525	48,433
横浜市	3,249	3,185
京都市	4,322	4,107
神戸市	3,069	2,994
福岡市	1,343	1,323
本市	3,678	4,088

注1 大阪市は非公表

2 東京都、横浜市、京都市、神戸市及び福岡市は暦年



6 中部国際空港の目標値及び実績

(1) 開港当初の目標値

年 度	旅 客 数			貨物取扱量
	国際線	国内線	計	国際線
平成18年度	万人 530	万人 670	万人 1,200	万トン 30
平成21年度	610	720	1,330	50

注 中部国際空港株式会社「セントレアグループ中期経営戦略の策定について  
(2006-2009年度)」(平成18年5月)による

(2) 実績

年 度	旅 客 数			貨物取扱量
	国際線	国内線	計	国際線
平成29年度	万人 556	万人 597	万人 1,153	万トン 17

7 市内の国・地域別留学生数

(単位：人)

区 分	人 数
中 国	1,477
韓 国	275
ベトナム	169
アメリカ	124
インドネシア	113
台 湾	103
その他	810
計	3,071

注1 愛知県留学生交流推進協議会の調査による

2 平成29年5月1日現在

8 なごや留学生フレンドシップ事業 (外国人留学生大交流会 in なごや2017)  
国別参加留学生数

(単位：人)

区 分	人 数
中 国	92
モンゴル	12
ベトナム	12
インドネシア	6
ロシア	3
ネパール	3
その他	11
計	139

9 国際展示場新第1展示館整備事業者選定審議会における検討事項

区分	開催日	主な検討事項
第1回	平成29年 4月19日	・第1展示館移転改築にかかる実施方針の確認
第2回	平成29年 8月17日	・実施方針等に対する質問回答 ・特定事業の選定 ・事業者の選定方法
第3回	平成29年12月 5日	・事業内容及びスケジュールの変更 ・実施方針の変更 ・要求水準書の変更 ・特定事業の選定の変更

10 国際展示場コンベンション施設整備に関する調査

(1) 事業者選定

選定方法	提案者数
公募型プロポーザル	2者

(2) 調査項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議施設及び飲食施設等の必要規模の調査</li> <li>・敷地条件の整理</li> <li>・整備する施設の検討</li> <li>・歩行者動線の検討</li> <li>・概算工事費及び工程の検討</li> <li>・事業手法の検討</li> </ul>
--

1.1 空見地区における大規模展示場整備に関する調査等

(1) 調査費の執行等にかかる市からの確認に対する県の回答

ア 空見地区における大規模展示場の整備に関する調査

このことに係る本県の認識は、平成29年3月15日に貴市に提出した文書のとおりであり、空見地区での展示場構想は、事業可能性が無く、具体化できないと考えております。従って、賛同することはできません

イ 愛知・名古屋展示会研究事業

当地における展示会産業の振興を目的とする「展示会研究事業」については、展示場整備に関する貴市との認識が一致していないため、現状において、貴市と連携した事業を実施するのは、混乱を招くことが懸念され、時期尚早であると考えております

(2) 未執行の理由

昨年度当初からの県との調整状況と上記回答を踏まえ、調査等実施に向けた環境が整わなかったことから、執行を見送ったもの

## 1.2 新たな文化施策推進体制の検討

### (1) 概要

文化芸術を他分野へ活用する体制について検討するための、学識経験者、文化団体、文化施設管理者等の有識者6名による検討会等を実施

### (2) 検討会の実施状況

区 分	検討内容
平成29年 7月 7日	本市の文化施策の評価
平成29年 9月29日	広報支援や活動評価等の機能
平成29年11月10日	助成制度や推進体制等の支援方法
平成29年12月15日	アーツカウンシルの方向性

### (3) 検討会での主な意見

- ・文化事業を他分野へつなげる横断的なコーディネート機能が重要
- ・当地域で活躍している若いアーティストを支援・育成する制度が必要
- ・アーツカウンシルの役割、方向性を明確にするべき

### (4) 本市におけるアーツカウンシルの考え方

文化芸術に対する支援、評価、調査研究等を行う専門家等による第三者機関

### 1.3 ナゴヤ・ポップアップ・アーティスト

#### (1) 会場別利用状況

区 分	提供数	利用数
久屋大通庭園フラリエ	2	2
農業文化園・戸田川緑地	727	35
東山動植物園	54	34
名古屋港水族館・ガーデンふ頭	229	185
ドコモスマートフォンラウンジ名古屋	56	50
イオンモール名古屋茶屋	96	6
イオンモールナゴヤドーム前	40	32
地下鉄栄駅	85	9
地下鉄伏見駅	65	19
地下鉄久屋大通駅	85	16
地下鉄上前津駅	20	11
栄ガスビル	2,440	91
今池ガスビル	4,053	788
名古屋城	2,532	456
星が丘テラス	12	12
計	10,496	1,746

注1 地下鉄伏見駅は平成30年1月より工事のため地下鉄上前津駅に変更

2 提供のなかった登録会場は、イオンモール名古屋みなと、イオンモール新瑞橋、イオンモール大高、イオンモール熱田、名古屋市農業センターdelaふぁーむ、星ヶ丘三越

(2) ナゴヤ・ポップアップ・アーティストに対する主な意見

区 分	主な意見
アーティスト	<ul style="list-style-type: none"><li>・アーティストが活動しやすい会場を増やしてほしい</li><li>・ウェブサイトで予約できることが利点と感じている</li><li>・SNSでの広報やイベントに力を入れてほしい</li></ul>
会場提供者	<ul style="list-style-type: none"><li>・さまざまなジャンルのアーティストに来てもらいたい</li><li>・会場独自のイベントを優先する必要があることから、提供できる枠がない</li></ul>

1.4 芸術文化団体への活動助成の実績及び見直しの経緯

(1) 芸術文化団体活動助成

区 分	平成28年度		平成29年度	
	団体数	助成額	団体数	助成額
音 楽	9	千円 731	8	千円 605
舞 台	4	525	5	687
舞 踊	1	42	1	58
美 術	8	588	7	569
鑑 賞	1	92	1	105
計	23	1,978	22	2,024

(2) 文化関係自費出版助成

区 分	平成28年度		平成29年度	
	団体数	助成額	団体数	助成額
文芸・文化研究	7	千円 759	12	千円 1,211

(3) 芸術文化団体活動助成制度の見直しの経緯

年 度	内 容
平成11年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成期間の新設（無制限 → 10年）</li> <li>・限度額の変更（300千円 → 200千円）</li> </ul>
平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成期間の変更（10年 → 5年）</li> </ul>
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成期間の変更（5年 → 3年）</li> <li>・限度額の変更（200千円 → 150千円）</li> </ul>



## 15 大・中規模ホールの認識と課題

### (1) 大・中規模ホールに対する認識

本市の大・中規模ホールは、稼働率が高い一方、老朽化の進行やバリアフリーへの対応が十分でないことから、来場者や施設利用者のニーズに応え切れていない施設がある

### (2) 市民会館のメンテナンスにかかる課題

通常の運營業務の中で、老朽化の進行によって設備故障時に交換部品の確保が困難になっていることや、給排水設備が躯体に埋設されているため更新工事が難しい等の課題がある

### (3) 他都市の状況

- ・施設利用者等の声を反映した快適な実演空間・鑑賞環境の整備
- ・劇場を核とした駅前・都心による複合再開発による都市魅力の向上

1.6 名古屋城における民間事業者と連携した城内イベントの主な内容

区 分	期 間	主な内容	独自提案催事
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビアガーデン真夏の宴</li> </ul>
名古屋城秋まつり	平成29年10月7日 ～11月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流鏝馬、放鷹術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Halloween HAPPY MAMA PARK</li> </ul>
名古屋城冬まつり	平成29年12月23日 ～平成30年1月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋城カウントダウン・ライブ!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームラボ 浮遊する、呼応する球体—名古屋城</li> </ul>
名古屋城春まつり	平成30年3月24日 ～3月31日	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋城酒まつり2018</li> </ul>

注1 名古屋城春まつりは、平成29年度内の期間等を記載

2 独自提案催事は、民間事業者の提案による有料催事

## 1.7 石垣の修復

### (1) 内容

当初予定	実施内容
石垣前面の地盤補強及び残り2段の石の取り外しを行い、それらに伴う発掘調査、測量等を行った後、引き続き積み直しに着手する	石垣前面の地盤補強を行い、それに伴う発掘調査、測量等を行った

### (2) 石垣部会からの意見等

意見内容	対応状況
残り2段の石を取り外すことで、今まで修復を行っていない築城当時の石垣が出てくることから、石垣やその背面の栗石や背面土も含めて十分に調査・検討して、今後行う積み直し計画に反映させることが必要である	石垣を適切に修復していくためには、残り2段の石を取り外した後の石垣、栗石、背面土の調査や勾配などの調査は必要であり、この調査に基づいて積み直し計画を再検討することが必要であると判断した
積み直しの勾配などについて、再度十分な調査・検討を行う必要がある	
名古屋城の石垣を修復整備していくために必要な学芸員の体制が不十分である	現状の学芸員の体制では、上記の調査・検討を行う体制が十分ではないと判断し、学芸員の体制の検討を行った

18 本丸御殿復元整備事業費

(1) 歳出内訳

(単位：千円)

区 分	当初予定	実績	実績	
			平成4～28年度	平成29年度
建築本体 工 事	13,000,000	10,944,444	8,309,000	2,635,444
観覧環境 等 関連 工 事		207,861	153,205	54,656
設計・ 発掘等	2,000,000	309,787	308,275	1,512
復元模写		984,560	943,590	40,970
計	15,000,000	12,446,652	9,714,070	2,732,582

(2) 財源内訳

(単位：千円)

区 分	当初予定	実績	実績	
			平成4～28年度	平成29年度
国 庫 支 出 金	5,000,000	4,922,493	3,954,493	968,000
県支出金		958,735	801,293	157,442
繰入金	5,000,000	4,206,532	3,298,160	908,372
税 等	5,000,000	2,358,892	1,660,124	698,768
計	15,000,000	12,446,652	9,714,070	2,732,582

注 繰入金は、名古屋城整備積立基金及び名古屋城本丸御殿積立基金からの繰入金

19 天守閣木造復元の基本設計等

(単位：千円)

区 分		当初予定額	支出済額
本体設計業務		482,509	476,409
その他 設計業務	仮収蔵庫	23,143	23,143
	素屋根	58,631	58,631
	その他仮設	50,959	50,959
調査業務		231,994	237,794
計		847,236	846,936